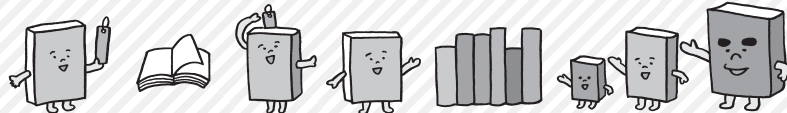


図書館へ 行こう! 3月号



3月、草木が徐々に芽吹き春の到来を感じる季節になりました。冬ごもりをしていた虫たちが出てくるこの頃を、七十二候で「蟄虫啓戸(すごもりむしとをひらく)」といいますが「啓戸」とは「戸を啓く」、一歩前に進むという意味があり、何かを始めるのに良いタイミングです。図書館では目標を立て気持ちを新たに進む方へおすすめの本を揃えて、来館をお待ちしています。

今月の読み聞かせ

おはなしひろば	毎週火曜日	10:30~11:00
おはなしルーム	竹田幼稚園	3月 2日(休) 14:00~14:30
	南部幼稚園	3月 9日(休) 14:00~14:30
たけのこ文庫のおはなし会	3月11日(出)	15:00~15:30

開館のご案内

- 竹田市立図書館(TEL&FAX 63-1048)**
開館時間 午前10時~午後6時/休館日 月曜日・第4金曜日
- 荻駅交流館図書室(TEL&FAX 68-2200)**
開館時間 午前10時~午後6時/休館日 土・日・祝日等
- 久住図書室(TEL 76-0717 / FAX 76-0724)**
- 直入図書室(TEL 75-2211 / FAX 75-2217)**
開館時間 午前8時30分~午後5時/休館日 土・日・祝日等

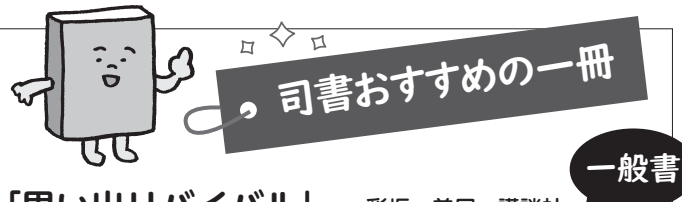
新刊のご案内

【一般書】

- ・名探偵の生まれる夜-大正謎百景-[KADOKAWA] 青柳 碧人
- ・風の値段 [小学館] 堂場 瞬一
- ・ビューティフルからビューティフルへ [河出書房新社] 日比野 コレコ
- ・うさぎ玉ほろほろ [講談社] 西條 奈加
- ・カサンドラのティータイム [朝日新聞出版] 櫻木 みわ
- ・編めば編むほどわたしはわたしになっていった [新潮社] 三國 万里子
- ・キリンに雷が落ちてどうする-少し考える日々- [朝日新聞出版] 品田 遊
- ・死にそうだけ生きてます [CCCメディアハウス] ヒオカ
- ・血流ゼロトレ-弱った体と心を回復させる-[サンマーク出版] 堀江 昭佳・石村 友見
- ・しっぽのお医者さん [朝日新聞出版] ねこまき

【児童書】

- ・とっとと成仏してください!①-憑かれて疲れてもう、サイアク!?- [ポプラ社] 花 千世子 作/海ばたり 絵
 - ・モンスター・ホテルでうたいましょう [小峰書店] 柏葉 幸子 作/高畠 純 絵
 - ・クラゲに願いを! [文研出版] 宇佐美 牧子 作/pon-marsh 絵
 - ・〈萌えすぎて〉絶対忘れない! 妄想古文 [河出書房新社] 三宅 香帆
 - ・ドラえもん探求ワールド-ねむりと夢のふしぎ-[小学館] 藤子・F・不二雄 まんが
 - ・テーマパークのサバイバル-生き残り作戦-[朝日新聞出版] ポドアルチング 文/韓 賢東 絵
 - ・ようかいむらのゆけゆけゆきがつせん [国土社] たかい よしかず
 - ・おうさまのまえでみぎむけ-みぎ! [KADOKAWA] 柏原 佳世子
 - ・ちいさなちいさなヤクのガーティ [岩崎書店] ルー・フレイザー 文/ケイト・ヒンドリー 絵
 - ・おだんごちょうだい [童心社] せな けいこ
- 他 200 冊ほど入りました。



「思い出リバイバル」 彩坂 美月 講談社



立花垂衣は、閉館した映画館で「映人」と呼ばれる人物と出会う。父が殺された日を、再上映するために……。家族、恋人との別れ。栄光の一日。罪を犯した日。忘れられない過去を再上映できるなら? 依頼人たちは思い出と向き合うことで、新たな真実に直面する。今を大切にしたいと思える、切なさが胸を衝く感動のミステリー。

児童書 「2番めにすき」

吉野 万理子 作/高橋 和枝 絵 くもん出版

ベストフレンドが一番なかよしのお友だちのこと。でも、お友だちに、じゅんぱんってあるのかな? ぶちネコのナッチはネコの学校にかよっています。三毛ネコのミケと茶トラのマツゾウ、ふわっふわのシオンはナッチのたいせつな友だち。ある時ナッチのクラスに、オレンジ色の長い毛がうつくしい転校生プリシラがやって来ます。プリシラは「この学校でベストフレンドがほしい!」と言い出して……。



「はるとあき」

斉藤 倫・うきまる 作/吉田 尚令 絵 小学館



わたしは「春」。季節がめぐる中で、「秋」に会ったことがないわたしは、「秋」に手紙を書くことにした。わたしと「秋」は、おたがいに見たことのない、それぞれのきせつのいいところを手紙につづり……。

「春」と「秋」の手紙のやり取りを通して、季節のすばらしさ、相手を思いやる心……忘れつつある大切なことを思い出させてくれる、大人にもおすすめの絵本です。

季節の絵本

読み聞かせにおすすめの1冊

「はるいちばん」

青山 友美 講談社

まどをあけて「ひゅー」とはいつてきたかぜがぬるい。うみのそばにすんでいる女の子は、はるをつげるかぜをおいかけて、いえをとびだし、みなとをこえて、かわをわたり、もりをぬける。するとそこには……。

季節のおとずれを大切に感じる、豊かな心を描いた絵本です。

